

# 船橋市立金杉台中学校の今後を考える会

平成 30 年 10 月発行

## 考える会ニュース

### NO.3

(事務局)

船橋市教育委員会 教育総務課企画係

〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25

TEL: 047-436-2802 FAX: 047-436-2808

MAIL: kyosomu@city.funabashi.lg.jp

## 【第 3 回船橋市立金杉台中学校の今後を考える会の報告】

平成 30 年 8 月 28 日（火） 金杉台中学校にて開催

### <考える会の出席者>

金杉台中学校及び金杉台小学校の学校関係者として、両校の校長と学校評議員の代表、金杉台小学校 PTA 役員の代表、教育委員会事務局から管理部長、教育総務課長、学務課長（計 12 人）

### <会議内容>

これまでの考える会でいただいたご意見から、「金杉台中学校での取組」、「推計」、「一定規模の教育環境を確保するための方策（統合）」、「他市事例」、「地域説明会の実施」についてテーマとし、意見交換を行いました。

#### （1）金杉台中学校での取組について

前回の考える会で、生徒数を増やすためにこれまでどのような対応をしてきたのかという質問がありました。生徒数に直接関わる取組として、平成 21 年度から御滝中学校区の中で金杉台中学校を選択できる地域を拡大したこと、また、平成 30 年度には、二和小学校と周辺小学校の通学区域の変更に合わせて中学校の通学区域の変更を行ったことが説明されました。加えて、教育環境の充実を図るために、加配教員・教科担任講師の配置（千葉県教育委員会へ要望）、「小中連携教育」の研究指定など、特色ある取組を実施してきたことが説明されました。

なお、平成 30 年度の二和小学校に関係した学区変更について、基本となる指定校が変更となった地域（御滝中学校を基本とするが金杉台中学校も選択できる地域から、金杉台中学校を基本とするが御滝中学校も選択できる地域に変更）について、右記のような意見がありました。

#### ～意見交換～

考える会を立ち上げているので、本来は金杉台中学校の通学区域であることをしっかり伝えてほしい。

## (2) 推計について

推計の作成方法とともに、金杉台中学校と近隣校である御滝中学校の最新の推計結果について説明がありました。宅地開発等の要因による御滝中学校の推計結果から、今後、御滝中学校への通学指定校変更の理由の一部が認められなくなる可能性があることが判明しました。

### ① 金杉台中学校の推計

推計(平成30年5月1日作成)

校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金杉台中	30	1	23	1	15	1	21	3	59
	31	1	21	1	23	1	15	3	59
	32	1	15	1	21	1	23	3	59
	33	1	23	1	15	1	21	3	59
	34	1	19	1	23	1	15	3	57
	35	1	16	1	19	1	23	3	58
	36	1	17	1	16	1	19	3	52
	37	1	18	1	17	1	16	3	51
	38	1	12	1	18	1	17	3	47
	39	1	14	1	12	1	18	3	44
	40	1	14	1	14	1	12	3	40
	41	1	7	1	14	1	14	3	35
	42	1	7	1	7	1	14	3	28

平成30年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。

### ② 御滝中学校の推計

推計(平成30年5月1日作成)

校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
御滝中	30	7	271	7	249	7	261	② 21	⑨ 781
	31	9	309	8	273	7	250	24	832
	32	9	304	9	311	8	274	26	889
	33	9	301	9	306	9	312	27	919
	34	10	317	8	303	9	307	27	927
	35	9	307	9	319	8	304	26	930
	36	9	287	9	309	9	320	27	916
	37	8	277	8	289	9	310	25	876
	38	8	270	8	279	8	290	24	839
	39	8	246	8	272	8	280	24	798
	40	7	220	7	247	8	273	22	740
	41	6	197	6	221	7	248	19	666
	42	6	208	6	198	6	222	18	628

平成30年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。

○数字は特別支援学級の学級数、生徒数。

### 通学指定校変更とは？～中学校の場合の基準～

通学する学校は、あらかじめ定められている通学区域に基づいて指定していますので、通学する学校を自由に選択することはできません。しかし、次のような特別な理由があると認められる場合には、通学する学校を変更することができます。

- ① 転居予定先の学校、② 生徒の身体的な理由、
- ③ 兄・姉が在学、④ 通学距離が明らかに近い学校、
- ⑤ 希望する部活動が通学指定校にないとき、など

部活動による通学指定校変更や、選択地域があることが疑問。行く学校が決まっていれば、すんなり行く。

小規模校では手厚い教育を受けられるメリットが大きい。御滝中学校は規模が大きいのでそれに適した教育方法があり、小規模校の金杉台中学校にも適した教育があるので、それぞれ特色を伸ばしていくことが必要。

注！意見をいただいた段階であり、まだ何も決定していません

### ～意見交換～

子供たちを小さな集団で育てるというのもいいけれど、人口減少という社会環境を考え、子供たちをどういうふうに育てるか考える必要がある。

客観的に見て、子供の立場に立てば、やはり生徒数の多い学校に行くべきで、統合はありきだと思う。

義務教育なので、同じ教育環境を与えてあげたい。小さな学校で部活動も十分にできないところや、いろいろな人とも付き合えない状態よりも、多様性のある人間集団のいる環境を早く作ってあげたい。

### (3) 一定規模の教育環境を確保するための方策、他市事例について

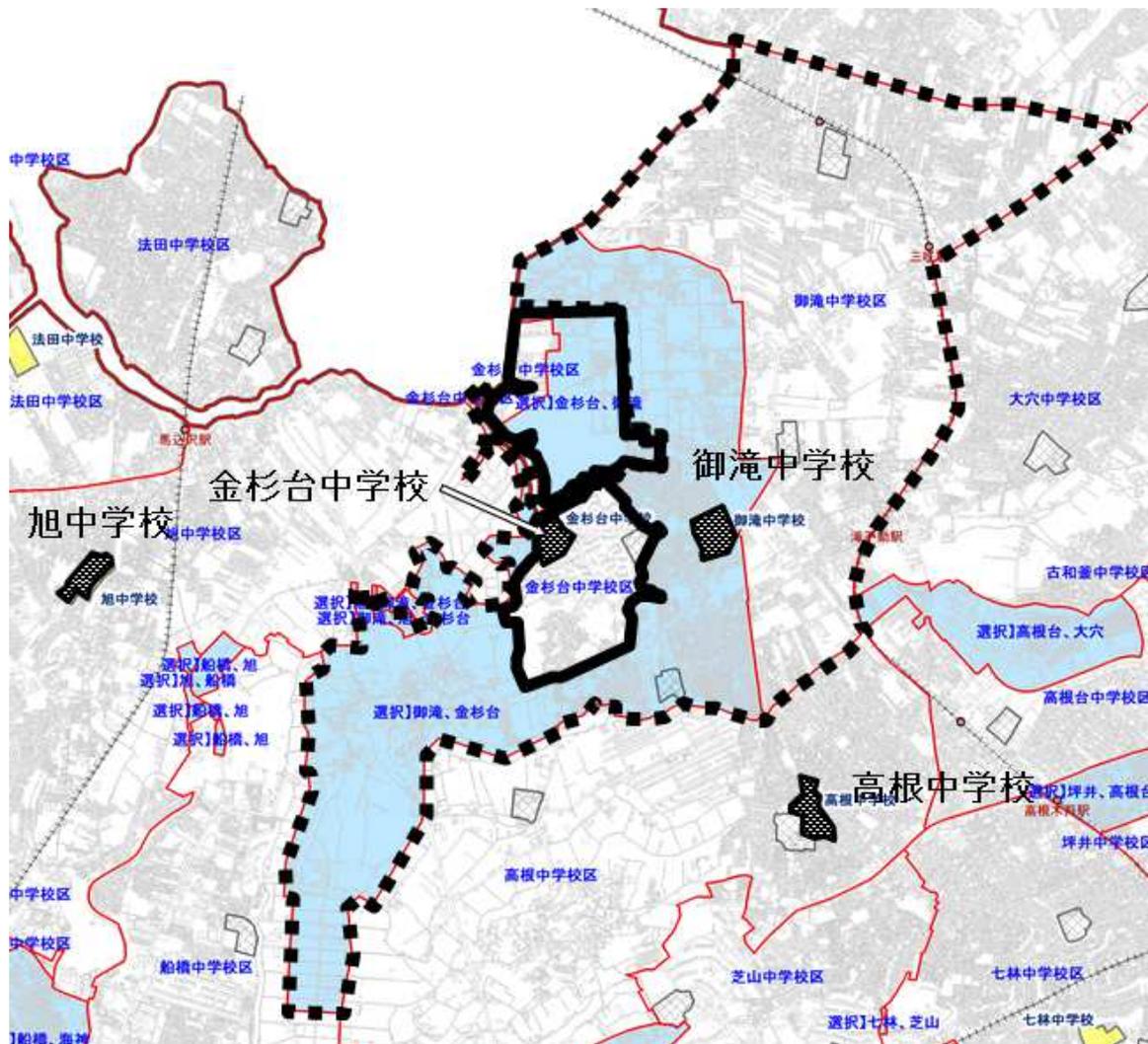
適正規模化の1つの方法として、学校統合が挙げられていることから、対応策の1つとして統合を考えた場合の金杉台中学校の周辺校の状況を説明し、他市での学校規模適正化の取組事例について紹介されました。

#### 金杉台中学校の通学区域と周辺校との関係～対応策の1つとしての統合の可能性～

旭中学校と高根中学校については、金杉台中学校の通学区域からはどちらも通学距離が遠くなることとなります。また、現在の通学区域どおりであれば、金杉台小学校を卒業した児童は旭中学校と高根中学校に入学しないため、小学校と中学校のつながりに課題があります。

御滝中学校については、金杉台中学校の通学区域(太線)が御滝中学校の通学区域(点線)に包含されています。金杉台中学校の通学区域からは通学距離が遠くなる地域もありますが、同じくらいの距離の地域もあります。また、現在の通学区域どおりであれば、金杉台小学校を卒業した一部の児童は御滝中学校に入学しています。

金杉台中学校及び周辺校の位置関係



～意見交換～

統合となると、御滝中学校は困らないか。私たちだけの話を聞いて決められるものではない。

金杉台中学校を残そうとはできないか。

**注！意見をいただいた段階であり、まだ何も決定していません**

この地区では、大小2つの規模の異なる中学校があり、中学校が1つだったら部活動が少ないことなど議論にならない。他方、統合しなければならぬ時代になってきている。子供のためには統合やむなしだろう。

統合の場合、ある時期に一齐に移るのか、ある時期以降入学しないことになるのか、よくわからない。そのため、その時期に当たらないでほしいと思ってしまう。

金杉台中学校では、人数が少ないなりに、大人数では経験できなかったこともできるので、一概に人数が多いほうがいいとは言えない。

(4) 地域説明会の実施について

今後は地域説明会にて、より多くの地域の保護者等を対象に説明し、意見を聞いていきます。また地域説明会の経過等必要に応じて、第4回目の考える会を開催する予定です。

地域説明会の詳細については、後日お知らせします。

～意見交換～

地域に説明に行くのであれば、市の見解を示すべきである。跡地のことなどは教育委員会では難しいと思うが、説明がないと地域からは答えが出てこない。

金杉台中学校をこのまま存続するという選択肢も外さないで進めてほしい。

◆ご意見、ご感想は事務局までお寄せください。お待ちしております。◆

(事務局)

船橋市教育委員会 教育総務課企画係

〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25

TEL: 047-436-2802 FAX: 047-436-2808

MAIL: kyosomu@city.funabashi.lg.jp

◆船橋市ホームページ◆

「船橋市立小・中学校の学校規模・学校配置に関する基本方針について」

<http://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p055056.html>